

令和5年3月8日

保護者の皆様へ

札幌若葉幼稚園 園長

## 令和4年度 札幌若葉幼稚園の自己評価について

「学校教育法施行規則」において、各学校が、自らの教育活動その他の学校運営等について、目指すべき目標を設定し、教職員が、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を自己評価し、その結果を公表することが義務付けられています。

本園においても教職員による自己評価を実施しましたので、その結果をまとめ下記のとおり報告いたします。

### 記

#### 1 本年度の重点目標と達成状況

- ① 教職員一人一人が、自らの職責を自覚し、持てる力を発揮し合い、相互理解と相互信頼のうえに立って協力し、教育の質を高める。

※目標は達成できた。各教諭が担当職責を遂行するとともに、相互に刺激し合いながら教育内容の質の向上、発展につとめた。

- ② 保護者に対し適正な情報を伝えるとともに保護者のニーズ把握に努める。

※目標は達成できた。

- ・ホームページ、ハグノート（連絡アプリ）、園だより、クラスだより、および、学年別カリキュラム等でタイムリーな情報を保護者に伝えた。
- ・9月まで使用していたリトルライン（メール連絡網）のサービス終了に伴い10月からハグノート（連絡アプリ）に変更した。
- ・ホームページを更改し、園だより、学年別カリキュラム、および、給食だよりを閲覧できるようにした。

- ③ 園舎等の環境整備

教育環境を改善するため、経年劣化等に伴う園舎などの修繕を実施する。

※目標は達成できた。次の環境整備工事等を実施しました。

- ・園舎 ホール舞台幕 ワイヤー 取替
- ・園舎 2階大人用便器 取替
- ・園舎 ベランダ水道漏水 修繕
- ・園舎 小型バス 電動シャッターモーター等 取替
- ・園舎 非常用放送設備 取替
- ・グラウンド 木柵塀 修繕・塗装
- ・園庭 花壇・砂場等の垂木 取替
- ・中型バス 後部バンパー 修繕

- ・小型バス スライドドア 修繕
- ・鍵盤ハーモニカ リード 取替

④ 車両・教材・教具等の環境整備

教育内容の向上をはかるため、車両・教材・教具の新規導入および経年劣化による更改を実施する。

※目標は達成できた。次のとおり教材・教具の新規導入、更改を行った。

新規導入

- ・360°カメラ 1台
- ・絵本 206冊、図鑑 24冊、紙芝居 4組
- ・スノースライダー 6台

経年劣化による更改

- ・園児机 年中長用 24台
- ・カワイ電子ピアノ 1台
- ・ワイヤレスハンドマイク 2式
- ・43型液晶テレビ 1台
- ・職員用机 1台
- ・職員用ノートパソコン 1台
- ・二層式洗濯機 1台

## 2 評価項目の達成・取組状況

A：達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

評価項目	達成状況	反省・課題等
園の教育理念・教育目標の理解	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園の教育方針に基づき保育をするよう心がけ伸び伸びと子供たちが成長できるような保育を行った。</li> </ul>
指導計画の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の実態や状況に応じた保育を心がけることが出来た。</li> <li>コロナ対応を踏まえた指導計画を作成した。</li> <li>月別カリキュラムに沿った週案・日案を立てているが、園児の姿を見ながらその日の最善の日案を組むよう取組んでいる。</li> </ul>
環境の構成	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧な清掃、消毒を心がけ感染症に気をつけることが出来た。</li> <li>園児の声を聞きながら、遊びが発展するような環境構成を行うようにしている。ここから更に、発展を見通した保育が出来るようにしていきたい。</li> <li>教室内、廊下、ホール等に季節を感じられるような装飾や園児の作品を展示している。</li> </ul>
幼児理解	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の話をよく聞き、思いを受け止めるようにしている。また、状況に応じて保護者にも連絡を取り、様子を説明している。</li> <li>個々の育ちをしっかりと見極め、必要な援助や配慮が必要だと感じた。</li> <li>時間が足りず、じっくりと話が聞けなかったり、逆に話を聞くことで全体を見られない時がある。</li> </ul>
指導とかかわり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>常に園児たちの見本となれるように発言や行動をするようにしている。</li> <li>園児同士のトラブルは、必ず両者の思いを聞いてから解決を促すようにしている。</li> <li>園児1人1人の気持ちに向き合い、スキンシップを多く取ったり会話を多くしている。</li> </ul>
保育者同士の協力・連携	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者同士で交流し、他のクラスの園児の話を共有し意見交換できるようにしている。</li> <li>教職員全員で、配慮が必要な園児についての情報を共有している。</li> <li>コロナ禍もあり、異年齢との関りが少なかった。</li> </ul>
保育の楽しみ・喜び	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児の成長が著しい数年を共に過ごせるといいう喜びを感じるとともに責任感も同時に持ちながら、保育を進めていきたい。</li> <li>園児と会話したり遊んだりすることが好きであり、楽しいと感じている。</li> </ul>
情報の発信と受信	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>気になる事、良い事を一緒に伝えるようにしている。クラスだよりでは、活動内容に加えて子供の様子も知らせるようにしている。</li> <li>クラスだより等で写真を貼って様子を伝えられたらと思う。</li> </ul>

以上